広がる5Sの輪

足利5S学校ニュース

整理　躾　5S　清掃　清潔　整頓

10名が巣立ち 第7期インストラクター養成研修修了

足利5S学校（石井金吾校長／㈱石井機械製作所／足利商工会議所常任顧問）が今年4月から実施した第7期インストラクターの養成研修が9月21日で修了した。半年間の研修で5Sについての知識と指導技法を身につけた研修生は、10月13日に行われた足利商工会議所産業功労者表彰式の席上、修了証書が授与された。今後は各社での足利流5Sを広める役割を果たす存在となる。

研修は、「トヨタの現場管理」やP．F．Dドラッカーの「仕事の哲学」などのテキストを使った、きむら5S実践舎木村温彦代表の座学による知識の習得と、実際に指導実習をするための職場提供事業所での現場研修による5Sの指導手法の習得など。

当初は自身の職場で「5S」を何気なく実践していたものの、それがどのような意味をなし、どのように役立っていくのかさえもわからなかった研修生が、半年間の徹底したカリキュラムを受講することで、5Sに対する考え方や意識が変わるところからはじまり、意義を理解し、問題点を考え解決策を生み出していく段階までレベルアップした。

研修生からは「5Sは、やるだけで劇的な効果をもたらす魔法ではなく、じっくりやることで企業風土を変える道具であると考える。会社を成長させるという目的を達成すべく、5Sを使って会社を良い方向へ変えていきたい」、「5Sは身近なところから、どの社員でも、実践しやすく気がつきやすく、明確化することで持続できる企業活動＝自分の為の活動であることを深く認識した」との声が上がった。

また、現場実習提供事業所からは、「異業種他社の5S活動の指導を通じて、日頃の業務とは異なる視点を養えたと思う。自社へ戻った後も企業特有の惰性に染まらずに、第三者的視点で自社内の5S活動を積極的に推進して、自社の経営革新の先導役になってほしい」との声があがった。

自ら考え、実践し、チームワークにより能力を高めていくなど、指導力を身につけていく過程には多くのハードルがあったが、それらを乗り越えて10月13日に修了証書を手にした。

（柏崎記）

<第7期インストラクター研修生の皆さん>

前列左から　（一社）産業サポート白河・金幸子、深谷輝雄、㈱OSGウォーターテック・細野淳一、㈱開倫塾・飯野健二

後列左から　㈱深井製作所・長正美、㈱石井機械製作所・東條雄一、㈱田部井製作所・室岡知志、足利工業高等学校・佐藤由晴、足利印刷㈱・渡邊篤史、高砂製薬㈱・細井浩平　（敬称略）

ネットワーク工場見学会 ㈱荻野機械製作所

足利5S学校では、9月23日に中川町の㈱荻野機械製作所（荻野光一社長・足利商工会議所常議員）で、月例ネットワーク工場見学会を行い18名が参加した。

同社は、昭和20年9月、太田市只上町で農機具製造業として創業。その後、自社製品の「ミクロバイス」（口金の幅がボディの幅より小さいためワンチャッキングで三面加工ができる小物部品の研削、切削、検査、穴あけ工程に最適な工具）を開発し、昭和43年7月、㈱荻野機械製作所を設立。現在は印刷機械部品、一般産業用機械部品を主要生産品としている。また、関連会社の㈱オギノも広範囲な機械部品を製作している。

足利5S学校との出会いは、平成27年5月から始まった「足利5S学校」第6期インストラクター養成講座の実践研修受入れ事業所に応募したことと、同時に養成講座に社員を派遣したことがスタート。以前から改善活動は独自に展開してきたが、安全と品質向上、業務の効率改善に全社員が5S活動に取り組んでいる。

第6期5Sインストラクターである荻野俊光氏は「見学会では、見学していただいた方々の意見も参考にして、今後の5S活動を発展させて行きたい」と語った。

（柏崎記）

㈱荻野機械製作所の工場内で説明を聞く参加者

改善のヒント　Q&Aコーナー

情報力の職場でこんな悩みをお持ちでありませんか？
5Sを始めたいと思っているけど、具体的に何をしたらよいかわからない
事務所の棚の中をどうにかしたい等

インストラクター活動事例 東京フォーミング株式会社

第2期インストラクター　岡　博行

〒0284-73-3000　足利市羽刈町763番地16　HP／http://www.tokyoforming.co.jp/

Q1．5Sを取り組み始めたきっかけは？

活動以前より社内にて5Sパトロールを実施していましたが、5Sへの取り組み方が解らない社員も多くいました。私もその中の一人でした。その様な中、足利5S学校と出会い2009年の10月に5S活動のキックオフを行いました。

Q2．どのような改善活動しましたか？

見える化を展開し、パーテーションを外し高さ制限を行いました。

また、イレクターによる多様な台車は基より、社内のレーザー機を利用し合板での木質の棚も作成しました。各グループで講習を行い、5S活動への取り組み方や必要性を理解してもらう事も活動の一つでした。

Q3．改善した結果は？

見える化を推進する事で周りの人の動きが見える様になり、良い刺激のある開放的な職場に変わりました。改善事例も貼り出す事で、各グループへの水平展開に役立てています。

Q4．今後の5S活動の抱負は？

今期から5Sインストラクターも2名になり、単に職場の5Sから人の動きやレイアウトを踏まえた生産性に繋がる5S、資材と共に部品納入を踏まえた棚卸し経費削減に繋がる5Sを展開し、一人一人が実感できる5S活動の推進を目指します。

レーザー加工による合板での木質棚
※用途に応じた使い分けを行っている

イレクターによる棚

5Sから得られる効果 ～⑯期限を切らない～

先月から足利流の5Sの特徴を紹介させて頂いていますが、今月は「期限を切らない」について述べたいと思います。足利の5Sでは「いつまでにやりなさい」という命令系統の指示は出さないことにしています。足利5Sについて学びに来たお客様から「期限を決めなくて物事が進むのですか」という疑問を多くの方々からいただくことがあります。今の時代は目まぐるしく変化する時代なので、みなさんがたくさんの仕事を担っています。そのような状況下で、お客様との約束（納期）が絶対条件なのに、そこに5Sでも待ったなしの期限を切られてしまうと、仕事と5Sに追われて両方が中途半端になってしまいます。仕事があっての5Sなので、社内の活動である5Sでは期限を切らないことにしています。現場で5Sを実践してみてわかることですが、当然、アイデアを追究すればするほど時間も必要になってきます。期限を設けて時間が経過しても、忘れたころに思っていた以上の事になって返って来たりすることもあります。ところが期限を切ると、決められた範囲で物事をこなしてしまいます。さらに、最近は「いつまでにやればいいですか」といった期限まで他力本願で指示待ちをしていて、自らで考えようとしない傾向さえも見られます。そのようなことから、足利の5Sは自ら考えて働く力を養うことを目的にしていますので、期限は自分自身で決めてもらうようにしています。目の前に一つの課題が出たら、自らで良く考え抜いてそれが自分（会社）にとって重要であれば、期限があろうとなかろうとすぐに着手すれば良いことですし、期限を決められたことよりも他に重要なことがあるのであれば、その期限を変えていくことも自ら決めていかなくてはならないのです。様々な日常の中で期限を切るというのは、部下を信用していないことから発しているような気がしてなりません。足利の5Sは人同士の信頼の証として、物事に期限を切らないのです。

きむら5S実践舎　鈴木　浩也

第3回世界5Sサミット

日時　平成28年11月10日（木）～11日（金）
会場　栃木県南地域地場産業振興センター

満員御礼

11月・12月 ネットワーク見学会案内

■11月度

日　時／11月25日（金）
午後2時30分～4時00分
見学企業／新井製菓㈱（深谷市本田ケ谷100）
☎048-571-4911
※原則現地集合となりますが、乗り合わせを希望される方は、足利商工会議所に午後1時集合
募集人数／15名（1社1名）　参加費1000円

■12月度

日　時／12月8日（木）
午後3時15分～4時45分
見学企業／アキレス㈱足利第1工場プラスチック工場（足利市借宿町668）
☎0284-73-9002
募集人数／30名（1社1名）　参加費1000円

足利5S学校の会員は1名のみ参加費を免除いたします（無料）
申込先／経営支援1課5S推進担当まで
☎21-1354
又はメール　acci@watv.ne.jp
詳細は、足利5S学校HP参照
http://www.ashikaga.info/acci5s/
※お願い：①多くの方に見学して頂くために原則、同一人の連続参加はご遠慮下さい。
②カメラ撮影は、ご遠慮下さい。

5Sの専門家が施策の悩みにヒントを与えます。
※具体的な場所やモノなどの写真を添付頂けるとお答えしやすくなります。
お問合せ先／足利5S学校（足利商工会議所経営支援1課5S推進担当）
☎21―1354、E-mail/acci@watv.ne.jp